

病名入力支援システム

Mighty QUBE[®] Hybrid-S

診察時の 病名入力支援 します

処方オーダー、注射オーダー、検体検査オーダー情報から当該患者様に保険適応病名が登録されていない場合は、科毎の病名使用頻度順にて候補病名を表示します。表示された候補病名をクリックすることで病名選択ができます。（電子カルテの仕様に依存）

お使いの電子カルテと
連携して合理的に
A・B査定防止！

病名入力支援

HbA1c
糖尿病
糖尿病の疑い

アムロジン
高血圧症
狭心症

入力の処方、検体検査、注射薬剤から保険適応病名が不足の場合、候補病名が表示され、その候補をクリックして病名選択できます。

* 病名候補は自動的に診療科毎、病名使用頻度順に表示。病名入力の手間と時間を大幅に削減します。

病名禁忌点検

○○□○○ ○□△△
□□□ ○△△
△○○ □○○△

食道狭窄 アクトネル錠 適応しては
ならない傷病名または算定条件があります

処方、注射オーダー情報から、当該患者様に禁忌となる病名が存在する場合は、ワーニングを返します。

* 禁忌病名がある場合は即座にアラートを表示します。過去病名の確認の手間が緩和されます。

投与量点検

□△△○ □○○□△
○△□ ○□□
○○□ △△○

胃潰瘍 タケプロンOD錠15
適応する傷病名の上限「2」を超えています

処方オーダー情報から、保険適応病名に対する投与量の点検をおこないます。

* 病名に合わせた投与量チェック例
タケプロンOD錠15 (PP1) 胃潰瘍 2錠/日
ヘリコバクターピロリ感染症 4錠/日

いつもの通り電子カルテに
オーダー入力するだけです。
MightyQUBE Hybrid-S が
リアルタイム点検を
おこないます。

- ・ MightyQUBE Hybrid-S のご導入には、電子カルテメーカー様またはオプションにより医事コンピュータメーカー様によるプログラム改修他が必要となります。関与します費用はお客様のご負担となります。
- ・ MightyQUBE Hybrid-S のご導入可否は、電子カルテシステムまたはオプションにより医事コンピュータシステムのプログラム改修に依存します。誠に恐れ入りますが、プログラム改修が不可能な場合はご導入いただけません。ご容赦いただけますよう、予めよろしくお願い申し上げます。

資料請求等は、以下に記載のうえFAXください。 株式会社エーアイエス FAX 03-5800-5910

☐ 資料請求

☐ プレゼンテーション/導入提案 希望 (Web・訪問)

医療機関様名:

様

所在地:

部署:

ご担当者様名:

様

お電話番号:

-

-

Mighty QUBE[®] Hybrid-S

マイティーキューブ ハイブリッド エス

医療安全

処方オーダーに対して表示された候補病名が想定外の場合は、処方オーダーの誤りも考えられます。

処方オーダー前または処方箋発行前に訂正ができます。

例) ノルバスク → 狭心症等 ノルバデックス → 乳癌等

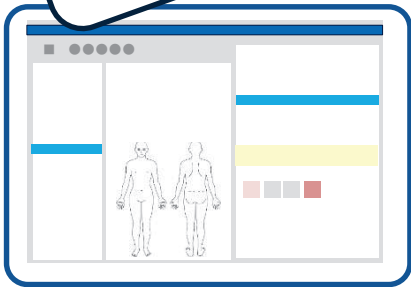
医師の働き方改革

電子カルテに入力の処方、注射、検体検査オーダーに対して、当該患者様に保険適応病名が無い場合は、科毎の病名使用頻度順に候補病名を表示します。*1 表示の病名をクリックにて病名選択が可能となり大幅な時間短縮、労力削減になります。*2

病院経営

医師および医事課職員様のレセプト点検に関わる作業時間と労力を削減します。レセプト点検の疑義が激減し、印刷するエラーリストの用紙代、トナー代、残業代も削減されます。つまり合理的に査定が減少し、経費も削減されます。

お使いの電子カルテと
連携して合理的に
A・B査定防止！



いつものとおり電子カルテに
オーダー入力するだけです。
即座にリアルタイム点検を
おこないます。

Mighty QUBE Hybrid-S

病名入力支援*3

病名禁忌点検

投与量点検

併用禁忌点検

薬物アレルギー一点検

食物アレルギー一点検

指定項目

検体検査縦覧点検

指定項目

指導料算定支援

*1 MightyQUBE Hybrid-S のご導入には電子カルテメーカー様によるプログラム改修が必要です。電子カルテのプログラム改修他関連費用はお客様のご負担となります。電子カルテのプログラム改修が不可能な場合、恐れ入りますがご導入いただけません。

*2 電子カルテメーカー様作製のUI(候補病名の表示および病名選択機能他)を利用します。関わります費用はお客様のご負担となります。

*3 薬剤に対する候補病名は添付文書に基づきますが、その全てが登録されているわけではありません。ユーザー様にて登録および削除をおこなっていただく場合があります。

検体検査情報はレセプト電算コードを使用します。病院様独自の検体検査コードでの連携はできませんので、お客様にて別にレセプト電算コードを付与していただきます。

* 縦覧点検(検体検査縦覧点検・指導料算定支援)機能の実装には、医事コンピュータのプログラム改修が必要となります。関わります費用は、お客様のご負担となります。誠に恐れ入りますが、電子カルテおよび医事コンピュータのプログラム改修が不可能な場合は実装いただけません。縦覧点検の検体検査、算定支援の指導管理料はともにAIS指定の項目となり、全ての保険項目ではありません。予めご了承ください。

* 当書面には、電子カルテシステムとの連携実績がない機能も掲載しております。詳細は、株式会社エーアイエスにお問い合わせください。

25.11

